

第15回 環境法政策学会

Japan Association for Environmental Law and Policy

2011年6月19日(日) 國學院大學(渋谷キャンパス 東京都渋谷区東4-10-28)

プログラム

10:00~12:00 分科会<個別報告> (若木タワー)

第一分科会 地下1階02会議室<報告20分、コメント10分、質疑応答30分>

第二分科会 5階0502教室 <報告20分、コメント5分、質疑応答5分>

第三分科会 5階0503教室 //

第四分科会 5階0508教室 //

第五分科会 5階0509教室 //

12:00~13:00 理事会 (若木タワー地下1階01教室)

13:00~13:30 会員総会 (常磐松ホール<学術メディアセンター内>)

シンポジウム「公害・環境紛争処理の変容」 (常磐松ホール)

13:30~13:40 <挨拶> 國學院大學学長 赤井益久

13:40~15:50 <第1部 報告>

15:50~16:10 休憩

16:10~17:40 <第2部 パネルディスカッション>

18:00~ 懇親会 (有栖川宮記念ホール<若木タワー内>)

~会費 5,000円 当日会場でお支払いください~

[注意事項とお知らせ]

- 1 分科会とシンポジウムの詳細は、裏面を参照ください。
- 2 開催校への質問等は、下記宛にお願いします。できるかぎりメールでご連絡ください。
*メール: jaelp2011@gmail.com
*FAX: 03-5466-0757 (國學院大學 廣瀬美佳・川合敏樹宛であることを明記ください)

<環境三学会合同シンポジウム>

日時: 2011年6月18日(土)

場所: 東京大学農学部1号館第8講義室

テーマ: 「循環型社会とファクター10」 ※詳細は別添のパフレット参照

環境法政策学会 第15回学術大会プログラム

《参加者・報告内容等一部が変更になる可能性があります》

第一分科会 ミニシンポジウム 公益訴訟〔地下1階02会議室 司会者：畠山武道（早稲田大学）〕

- ① オース条約と環境団体訴訟 [大久保規子（大阪大学）]
- ② 環境団体訴訟の憲法学的位置付け [松本和彦（大阪大学）]
- ③ 団体訴訟の法的正統性 [桑原勇進（上智大学）]
- ④ 環境団体訴訟立法の在り方 [越智敏裕（上智大学）]
- ⑤ コメント [畠山武道（早稲田大学）]

第二分科会 気候変動・国際法〔5階0502教室 司会者：奥 真美（首都大学東京）〕

- ① 水資源を巡る国際法の進展と課題
[報告者：波多野英治（明治学院大学）／コメンテーター：西村智朗（立命館大学）]
- ② 将来枠組みに関する気候変動法の国内実施：EU・イギリス
[木村ひとみ（大妻女子大学）／奥 真美（首都大学東京）]
- ③ 気候変動影響への適応策における国際環境法の基本原則の役割
[久保田 泉（国立環境研究所）／遠井朗子（酪農学園大学）]
- ④ 気候変動への対処をめぐる先進国と途上国関係の持続と変化－COP16『カンクン合意』までの
米中間対立と協力を中心として－ [鄭 方婷（東京大学大学院）／樺島博志（東北大学）]

第三分科会 生物多様性・自然〔5階0503教室 司会者：岩間 徹（西南学院大学）〕

- ① 荒れた育成林問題解消のための一考察－林業ないしは森林施業をより効率良く実施するための法的検討－
[神山智美（九州国際大学）／及川敬貴（横浜国立大学）]
- ② 生物多様性条約 COP10 の評価と課題～生物多様性の主流化を実現するため法政策～
[宮崎正浩（跡見学園女子大学）／磯崎博司（上智大学）]
- ③ 狩猟の場と土地所有権の関係の考察：ドイツの猟区制度と比較して
[高橋満彦（富山大学）／加藤峰夫（横浜国立大学）]
- ④ 生物多様性保全法政策の提言－名古屋議定書等の採択をめぐって
[戸田博之（神戸大学法政策研究会）／岩間 徹（西南学院大学）]

第四分科会 環境理念・国内政策〔5階0508教室 司会者：柳 憲一郎（明治大学）〕

- ① 社会費用、成長の限界、成長の権利－国際環境法への法哲学的アプローチ
[樺島博志（東北大学）／倉阪秀史（千葉大学）]
- ② 廃棄物処理法における「実施確認」の法政策的位置づけに関する一考察
[小清水宏如（環境政策ネットワーク）／下井康史（新潟大学）]
- ③ ナノマテリアルの身体的悪影響と「予防原則」の適用可能性に関する一考察
[中山敬太（早稲田大学大学院）／柳 憲一郎（明治大学）]
- ④ 有害性情報の行政利用をめぐる法的問題に関する一考察
[増沢陽子（名古屋大学）／前田定孝（三重大学）]

第五分科会 環境訴訟〔5階0509教室 司会者：磯野弥生（東京経済大学）〕

- ①1990年油濁法の下での責任制度に関する考察－メキシコ湾原油流出事故を素材として－
〔小林 寛（長崎大学）／野村摂雄（明治学院大学）〕
- ②アメリカの気候変動訴訟と原告適格～事実上の損害要件と蓋然性を中心に～
〔下村英嗣（広島修道大学）／筑紫圭一（上智大学）〕
- ③道路構造令における行政裁量に関する研究（公共事業裁判の研究）
〔田畑琢己（法政大学大学院）／荏原明則（関西学院大学）〕
- ④公害環境紛争処理の変容－義務付け訴訟の動向
〔池田直樹（弁護士・関西学院大学）／磯野弥生（東京経済大学）〕

=====

シンポジウム（常磐松ホール）

「公害・環境紛争処理の変容」

☆第1部 報告☆ 司会：井上秀典（明星大学）、勢一智子（西南学院大学）

13:40～14:00 総括・総論：畠山武道（早稲田大学）

14:00～14:20 公害訴訟：大塚 直（早稲田大学）

14:20～14:40 廃棄物訴訟：福士 明（北海学園大学）

14:40～15:00 景観・まちづくり訴訟：日置雅晴（弁護士・早稲田大学）

15:00～15:20 自然保護訴訟：及川敬貴（横浜国立大学）

15:20～15:40 公害紛争処理法制度の現状と課題：六車 明（慶應義塾大学）

15:40～15:50 コメント：淡路剛久（早稲田大学）・阿部泰隆（弁護士）

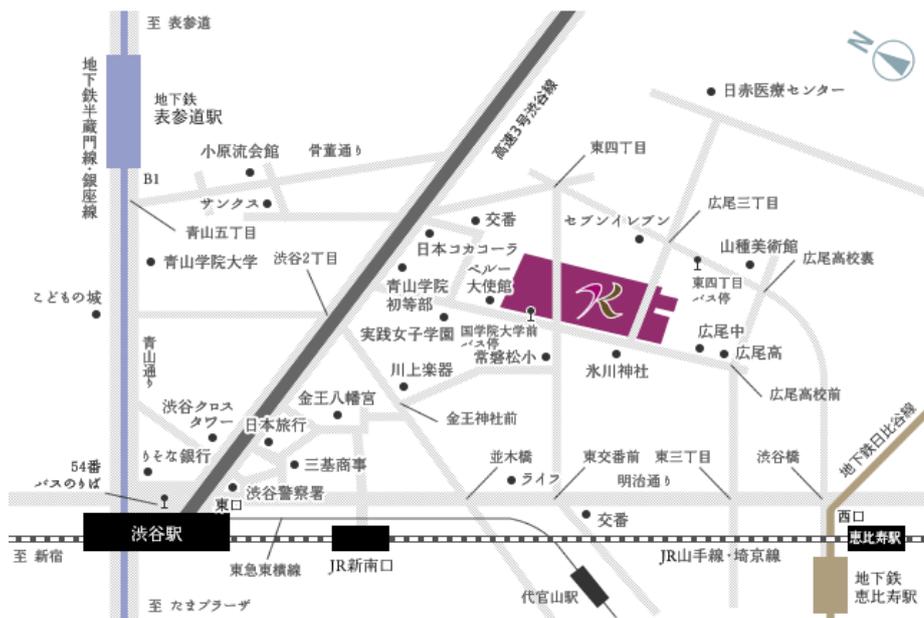
15:50～16:10 -----休憩（質問票回収）-----

☆第2部 パネルディスカッション☆ 司会：浅野直人（福岡大学）、北村喜宣（上智大学）

16:10～17:40

- パネリスト：①大塚 直（早稲田大学）
②福士 明（北海学園大学）
③日置雅晴（弁護士・早稲田大学）
④及川敬貴（横浜国立大学）
⑤六車 明（慶應義塾大学）
⑥畠山武道（早稲田大学）

<アクセスマップ>



◎交通アクセス

○渋谷駅からのアクセス

- ・渋谷駅（JR山手線・地下鉄・京王井の頭線・東急各線）から徒歩約13分
- ・渋谷駅（JR埼京線）新南口から徒歩約10分
- ・都営バス（渋谷駅東口バスターミナル54番のりば 学03日赤医療センター行）「国学院大学前」下車（運賃170円）【渋谷駅から3番目の停留所、所要時間約10分】

○表参道駅からのアクセス

- ・表参道駅（地下鉄半蔵門線・銀座線・千代田線）B1出口から徒歩約15分

○恵比寿駅からのアクセス

- ・恵比寿駅（JR山手線・地下鉄日比谷線）から徒歩約15分
- ・都営バス（恵比寿駅西口ロータリー1番のりば 学06日赤医療センター行）「東四丁目」下車（運賃170円）【恵比寿駅から3番目の停留所、所要時間約10分】

<キャンパスマップ>



◎若木タワー：分科会、理事会、懇親会会場

◎学術メディアセンター（AMC）：会員総会、シンポジウム会場